日本古典籍の目録情報募集中!





貴館の古典籍目録を 国書データベースに 載せてみませんか?





何を提供すれば良いですか?

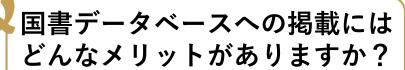
電子化された書誌データや画像はありません。



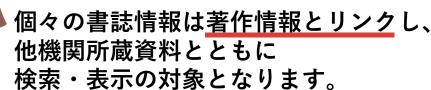


冊子目録、Excel、PDF、NCデータなど、 さまざまな形式から採録可能です。

画像は無くてもOK!書誌情報があれば公開できます!





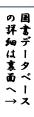


利用者が見つけやすくなり<u>利活用が増加、</u> 所蔵古典籍の知名度アップにつながります!

国内外を問わず目録収載実績多数! 収載他機関所蔵目録一覧はコチラ https://kokusho.nijl.ac.jp/page/owners.html







国書データベースとは

「国書データベース」は世界最大級の日本古典籍データベースです。「日本古典籍総合目録データベース」と「新日本古典籍総合データベース」を統合し、2023年に誕生しました。

国文学研究資料館をはじめ、国内外の大学や研究機関、 専門機関、自治体、個人が所蔵する日本古典籍の画像と書誌 情報を公開しています。主に江戸時代までの本が中心ですが、 2024年に「近代書誌・近代画像データベース」を統合し、 近代の資料の画像と情報も増えています。

所蔵機関・個人のご協力の結果、2025年現在、 <mark>約30万点の画像と約95万件の書誌情報</mark>を公開すること ができています!

また、2024年度から開始した大規模学術フロンティア 促進事業「データ駆動による課題解決型人文学の創成」 (略称:国文研DDHプロジェクト)では、15万点の画像 の新規公開やAIを活用したテキスト化などに取り組んで います。



https://kokusho.nijl.ac.jp/





訊詳さメいしらし

てくにル

書誌作成について

くずし字を解読できる当館スタッフが、データベースで検索・利用するために必要な「書名」、「著者名」、「所蔵者」などの様々な書誌データを整備しています。他機関所蔵目録からの収載作業においては、提供いただいた書誌情報を国書データベースの書誌項目に合わせて加工し、著作情報への紐付けを行っています。

また、「メタデータ流通ガイドライン(古典籍編)」や日本古典籍のデジタルアーカイブに対応した「JPCOARスキーマ2.0」の編纂に関わるなど、国立国会図書館・オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)とともに日本古典籍に関する書誌の標準化に貢献しています。

お問い合わせ先

国文学研究資料館 メタデータ係

E-MAIL: metadata@nijl.ac.jp 〒190-0014東京都立川市緑町10-3 TEL: 050-5533-2931 FAX: 042-526-8606

URL: https://www.nijl.ac.jp/

